

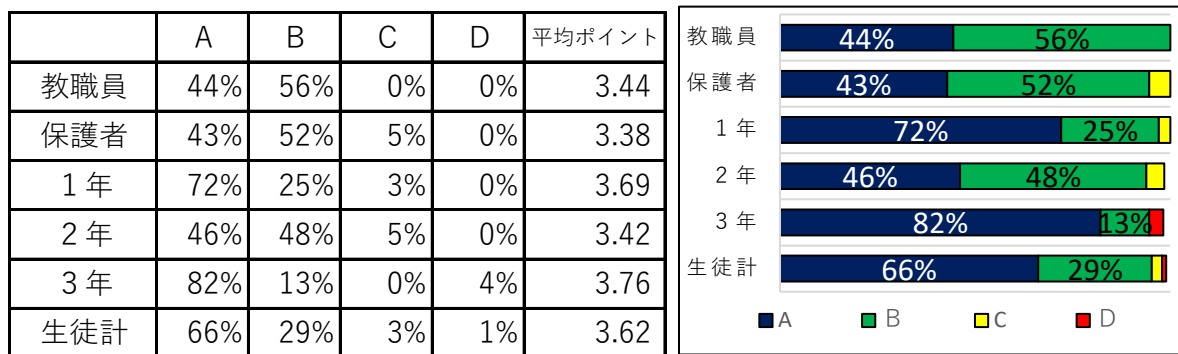
## 令和4年度 学校評価アンケート（年度末）まとめ

1月に行った学校評価アンケートの結果をまとめました。アンケートの回答を次のようにポイント化し、今後の学校運営に生かしていきます。ご回答いただいた方ありがとうございました。

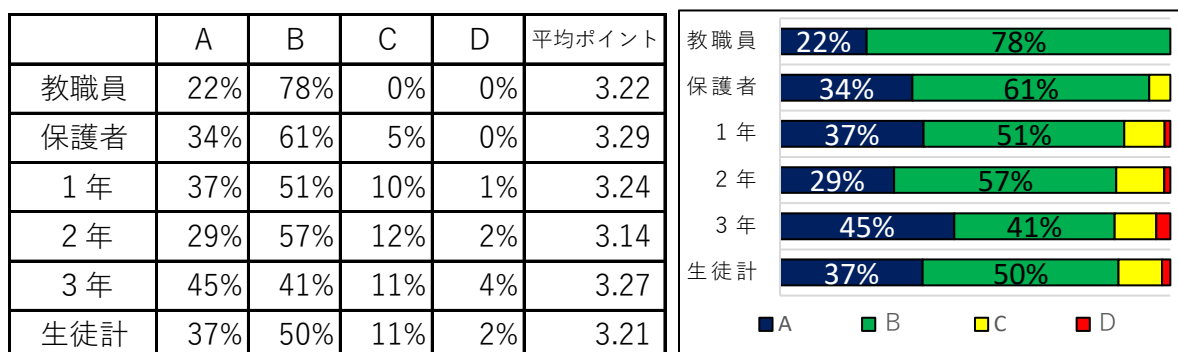
A:よく当てはまる（4点） B:だいたい当てはまる（3点）

C:あまり当てはまらない（2点） D:全く当てはまらない（1点）

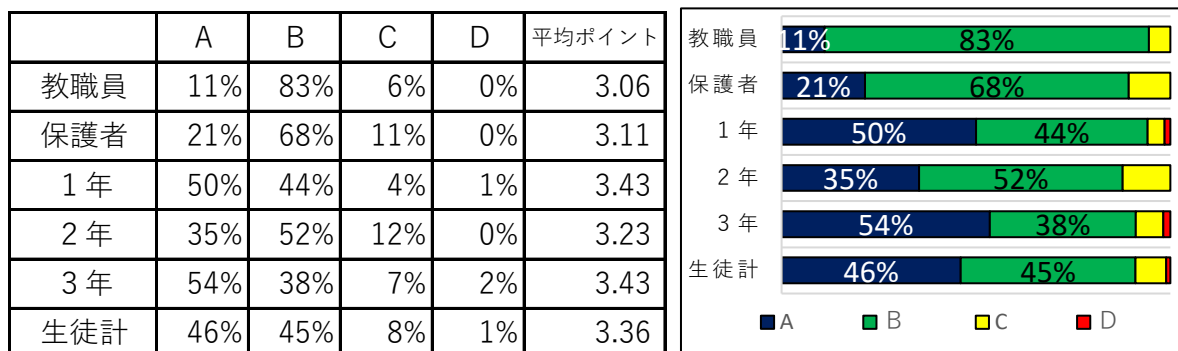
問1 <学校生活>子どもたちは、安心して楽しく学校生活を送ることができている。



問2 <能力発揮>子どもたちは、もてる能力を十分に発揮して生活している。

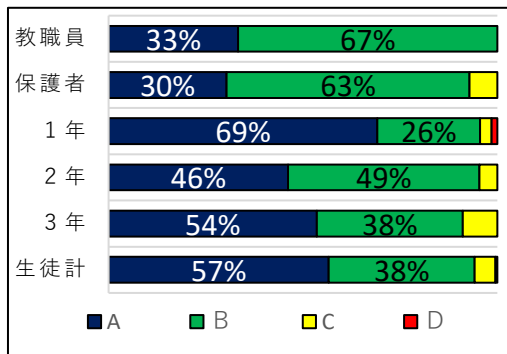


問3 <授業>授業は、友達と学び合いながら、分かりやすい内容になっている。



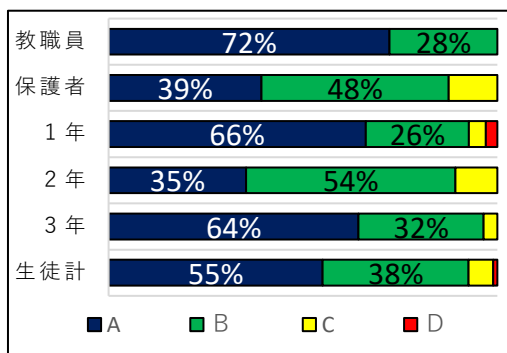
問4 <道徳>道徳の授業では、他人を思いやる心や認め合う姿勢を身に付けたり、自分を見つめ直したりする機会が設定されている。

	A	B	C	D	平均ポイント
教職員	33%	67%	0%	0%	3.33
保護者	30%	63%	7%	0%	3.23
1年	69%	26%	3%	1%	3.63
2年	46%	49%	5%	0%	3.42
3年	54%	38%	9%	0%	3.45
生徒計	57%	38%	5%	1%	3.50



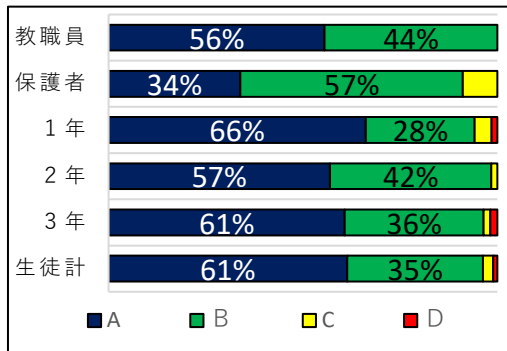
問5 <教育相談>先生たちは親身になって相談事に応じてくれる。

	A	B	C	D	平均ポイント
教職員	72%	28%	0%	0%	3.72
保護者	39%	48%	13%	0%	3.27
1年	66%	26%	4%	3%	3.56
2年	35%	54%	11%	0%	3.25
3年	64%	32%	4%	0%	3.61
生徒計	55%	38%	6%	1%	3.47



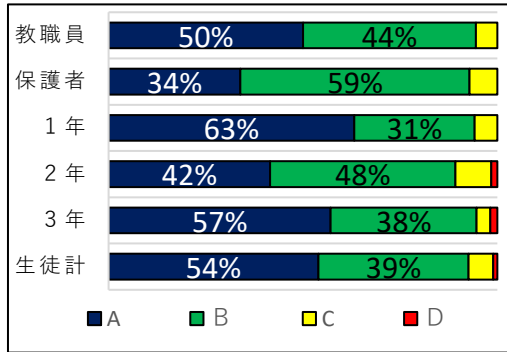
問6 <生徒指導>学校は、あいさつや身だしなみ、時間や約束を守ることなど、子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう指導している。

	A	B	C	D	平均ポイント
教職員	56%	44%	0%	0%	3.56
保護者	34%	57%	9%	0%	3.25
1年	66%	28%	4%	1%	3.59
2年	57%	42%	2%	0%	3.55
3年	61%	36%	2%	2%	3.55
生徒計	61%	35%	3%	1%	3.57

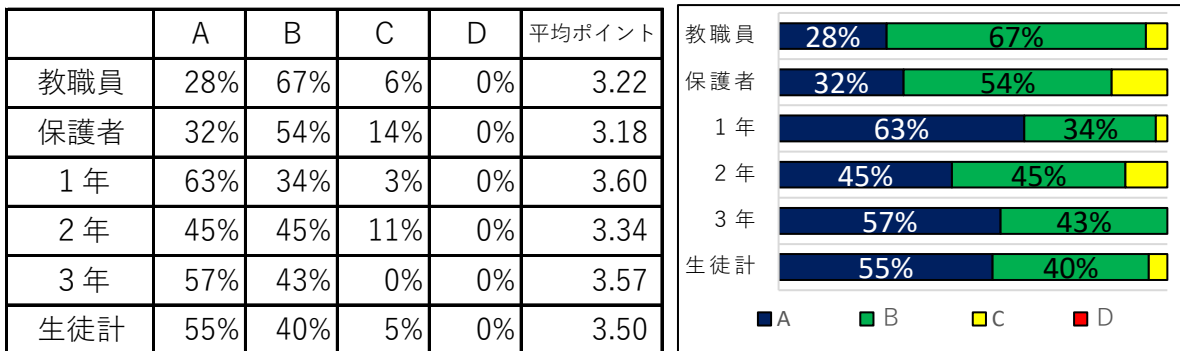


問7 <保健>子どもたちは、心身の健康に気をつけて、学校生活を送ることができている。

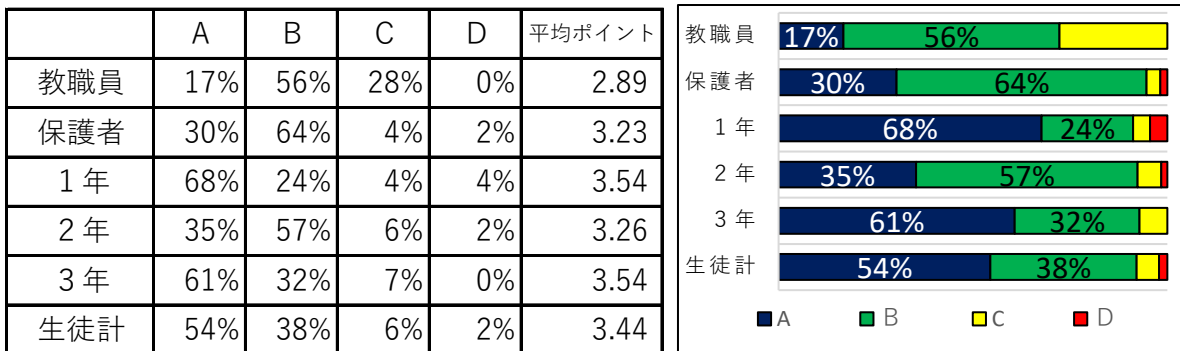
	A	B	C	D	平均ポイント
教職員	50%	44%	6%	0%	3.44
保護者	34%	59%	7%	0%	3.27
1年	63%	31%	6%	0%	3.57
2年	42%	48%	9%	2%	3.29
3年	57%	38%	4%	2%	3.50
生徒計	54%	39%	6%	1%	3.46



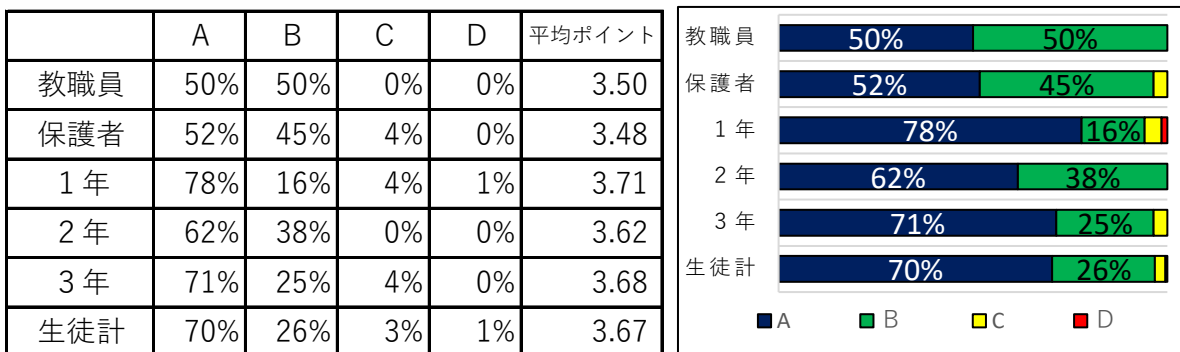
問8 <連絡> 学校の方針や連絡、様子はしっかりと伝わっている。



問9 <環境行事> 地域奉仕活動や花いっぱい活動は、豊かな心を身に付ける機会として有意義である。



問10 <文化的行事> 合唱コンクールや作品展は、学級の団結力を高めたり、互いの努力や能力を認め合ったりする機会として有意義である。



○ 評価が高かった項目

教職員		保護者		生徒	
項目	ポイント	項目	ポイント	項目	ポイント
5 教育相談	3.72	10 文化的行事	3.48	10 文化的行事	3.67
6 生徒指導	3.56	1 学校生活	3.38	1 学校生活	3.62
10 文化的行事	3.50	2 能力発揮	3.29	6 生徒指導	3.57

○ 評価が低かった項目

項目	ポイント	項目	ポイント	項目	ポイント
9 環境行事	2.89	3 授業	3.11	2 能力発揮	3.21
3 授業	3.06	8 連絡	3.18	3 授業	3.36
2 能力発揮	3.22	4 道徳	3.23	9 環境行事	3.44
8 連絡	3.22	9 環境行事	3.23		

評価が高かった項目では、文化的行事について、教職員・保護者・生徒すべての評価が高く、コロナ禍においても子どもたちの機会をつくることの大切さを改めて感じました。生徒指導においては、教職員・生徒の評価が高く、基本的な生活習慣を身に付ける必要性を同じように感じていると考えられます。

評価項目が低かった項目では、授業において教職員・保護者・生徒すべての評価が低いという結果になりました。本校の学校努力点「仲間と学び合い、互いに認め合う生徒の育成」にあるように、ICT機器などの活用を進め、仲間と対話する授業づくりに引き続き取り組んでいくとともに、子どもたち一人一人の能力が発揮できるように取り組んでいきたいと思っております。